

第1回（平成28年6月30日開催）森町総合計画審議会 意見に対する回答表

「森町人口ビジョン」について

意 見	回 答
<p>松下委員</p> <p>・今回の総合計画の背景として、最も大きいものは地方創生である。今後の人口減少に立ち向かい、さらに魅力的な森町を目指すことが策定方針と基本になると考える。従って、人口減少社会に対応していく、地方創生への挑戦という気構えを策定方針に入れたらどうか。</p>	<p>・貴重なご意見であるので、策定方針を当初の5項目から1項目追加することで対応。「地方創生の実現に向けた計画」という視点を新たに追加。</p>
<p>打田委員</p> <p>・前回の第8次総合計画と今回策定する第9次総合計画の策定方針の違いは何か。</p>	<p>・第8次は合併が白紙となり、町単独で行政運営をする必要が生じた。よって、白紙・一からの状態をベースにしており、行財政改革を強く推し進めるものとなっていた。</p> <p>また、選択と集中、町民との協働を重要視して策定したものである。</p> <p>・第9次は、第8次を継続する中で、この10年間の社会状況の変化、少子高齢化や人口減少など地方創生の推進を念頭におくとともに、森町の置かれた状況（新東名開通、内陸フロンティア、遠州の小京都、お達者度など）をキーワードとした総合計画を策定する必要性が生じたことが前回との主な違いである。</p>
<p>松下委員</p> <p>・総合戦略において KPI を設定しているが、一番重要なことは実現していくための事業構築をどのように考え実施していくかである。今後の人口減少社会において、町の良さを理解してくれる人に住んでもらえるように、努力をしなくてはならない。</p>	<p>・設定した人口ビジョンの数値の確保に向け、出生率の向上や社会移動の改善を図るために、取組効果の高い具体的な事業を選別し、重点的に実施していく。</p> <p>また、その際には、健全な財政運営や歳入の確保も視野に入れ、地域の経済効果を高めるような事業構築を実施していきたい。</p>

<p>伊藤委員</p> <p>・平成２７年１０月に策定した「森町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略」の冊子５６から５７ページに転入者アンケート調査結果が掲載されているので、委員の皆さんもご覧になって参考にしてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の方に冊子を配布することで対応。</li> <li>・森町ホームページからも閲覧することができる。</li> </ul>
<p>濱田委員</p> <p>・委員として審議会の中で何をするのか、詳しく説明してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第１回は第９次総合計画策定に向けての策定方針や推進体制、スケジュールの説明が主となっていて、委員の皆様にご意見をいただく時間を十分に確保できなかった。</li> <li>・次回は、総合計画の基本構想案（たたき台）を提示するので、委員の皆様から幅広い意見をいただきたいと考えている。</li> <li>・総合計画基本構想及び基本計画の策定、調整その他必要な事項を審議する場である。</li> </ul>
<p>濱田委員</p> <p>・人口減少や少子化への対応として、たくさん子どもを産んだ場合に表彰制度を設けたらどうか。人口増は一朝一夕には成果は出ない。人口増加として、町外から町に来てもらうことが必要で、企業誘致等を積極的に展開してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重なご意見なので検討していきたい。</li> <li>・県と連携して内陸フロンティア構想の推進を実施しているので、継続する中で対応していきたい。また、今回の企業・事業所アンケート調査の結果や企業訪問を実施するなど、企業の意識・希望にかなうような施策を検討していきたい。</li> </ul>